

---

まえがき	遠山絃司・柴山盛生・川井頼能・東 千秋	3
<hr/>		
1—問題解決とは	柴山盛生・遠山絃司	12
<hr/>		
1. はじめに		12
2. 事例		13
3. 科目の概要		16
4. 事例研究の進め方		17
5. 問題解決のための能力や知識		18
<hr/>		
2—問題解決の第一歩	柴山盛生・遠山絃司	23
<hr/>		
1. 言葉の概念		23
2. 問題の視点		24
3. 問題の形式		26
4. 問題解決のアプローチ		30
5. 問題解決のアルゴリズム——ポリアの方法		33
6. 事例		35
<hr/>		
3—問題解決の過程	柴山盛生・遠山絃司	39
<hr/>		
1. 問題解決モデル		39
2. 問題の提起		41
3. 問題の解答		44
4. 問題解決方法の例		46
5. 事例		49
<hr/>		
4—問題解決の思考法	柴山盛生・川井頼能	52
<hr/>		
1. 発散的思考		52

2. 論理学の基礎	56
3. 論理的思考展開	58
4. 推論ネットワーク	60
5. 確率判断	61
6. 因果関係	61
7. 事例	62
<b>5—情報の収集と整理</b>	<b>柴山盛生・遠山絃司 65</b>
1. 情報収集の基礎	65
2. 情報の収集	66
3. 整理と分析	74
4. 事例	76
<b>6—発想と整理の技法</b>	<b>柴山盛生・川井頼能 79</b>
1. 発想の技法	79
2. 発想法の例	81
3. 図解による整理	87
4. 事例	92
<b>7—日常的数量表現と統計</b>	<b>東 千秋・柴山盛生 96</b>
1. 数量表現の特徴	96
2. 統計の基礎	97
3. 統計の分析	104
<b>8—図解表現</b>	<b>遠山絃司 121</b>
1. 図解の意味と目的	121
2. 図解のメリットと分類	122
3. 箇条書き	123
4. 表	123
5. グラフ	124

6. 物理図解と論理図解	127
7. 事例	128

## 9—文章表現 柴山盛生・遠山絃司 130

1. 文章表現とは	130
2. 日本語表記の基礎	132
3. 文の表現	136
4. 段落（パラグラフ）	138
5. 文章構成	139
6. 事例	143

## 10—プレゼンテーション 遠山絃司 145

1. プレゼンテーションの目的と考慮すべきこと	145
2. 聞き手（相手）を知る	146
3. 内容のまとめ方	147
4. プレゼンテーションの話術	148
5. 機器の利用	150
6. 聞き手のルールと司会者の役割	152
7. 事例	154

## 11—交渉と説得 柴山盛生・東 千秋 161

1. 意思決定	161
2. ゲーム理論と意思決定	164
3. 交渉	168
4. 交渉の方法	171
5. 事例	173

## 12—評価 柴山盛生・遠山絃司 177

1. 評価の分類	177
2. 評価の形態	179

3. 表現形式	181
4. ORによる方法	182
5. AHP分析	186
6. 事例	189

**13—総合事例 1** 遠山紘司 192

[総合事例 1] 世界最強の精密部品メーカーをめざす	192
1. はじめに	192
2. ボールベアリングとは何か	193
3. 人手不足とシンガポール進出	194
4. アメリカ進出	194
5. タイ進出	195
6. 技術移転	196
7. マザー工場研修	197
8. 垂直統合生産方式	197
9. 横組織による管理	198
10. おわりに	199

**14—総合事例 2, 3** 東 千秋・川井頼能 200

[総合事例 2] 会議を活性化する	200
1. はじめに	200
2. コラジェクタ会議で用意する機器と人の役割	201
3. 会議の進め方	202
4. 利用上の特徴	206
5. おわりに	207
[総合事例 3] 病院におけるベッドからの転落を防ぐ	207
1. はじめに	207
2. 問題の概要	208
3. 事故への対応	209

4. おわりに	212
---------	-----

**15—問題解決の展望**

東 千秋・遠山紘司・川井頼能・柴山盛生 213

1. この授業を振り返って	213
2. 問題解決の発想と創成教育	219
3. 問題解決の発想の奥にあるもの	224
4. 問題解決の展望——現在の湯布院	227

索引	230
----	-----